



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10
電話 098-930-2525(にこにこ)
FAX 098-933-1324
ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>
メール info@ryokujukai.or.jp

竹とんぼ

にこにこ情報



(写真:緑樹苑内撮影)



飛行日誌



平成三十年度がスタートしました。四月は、入社、入学、人事異動など、人がリフレッシュし、事業が始動する起點になる月です。さて、緑樹会は昭和五十四年に現在の地に軽費老人ホーム(定員五十人)を開所し、社会福祉法人としての経営をスタートしました。当初の職員数十五人は今では二百二十六人となり、また、事業においては介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、ケアハウスはいびすかす、ケアハウスていんさぐぬ花の三施設を経営するとともに、デイサービス事業、居宅支援事業(ケアマネ)、訪問介護事業、ショートステイ事業、地域包括支援センター西部北事業の在宅サービス部門に加え、児童福祉事業のみどり学童クラブを運営しています。

長年にわたって、家族や地域社会のために汗水流して働いてきた高齢者のみなさんに、安全で安心して長寿生活を送っていただくために、緑樹会はこれまでも一生懸命にお手伝いをしてきました。

特に、今年度は在宅サービス事業の充実強化に取り組みます。デイサービスでは引き続き弁当の無料化をおこない、機能訓練の強化(療法士の確保)を図ります。訪問介護においては、ヘルパーの増員を図り、在宅での生活の維持と向上に努めます。地域包括支援センター西部北(八重島・センターセンター・中の町・胡屋・園田)では、高齢者や家族のみなさん、そして、地域のみなさんに本当に心から信頼され、実際に力になる福祉・介護のプロフェショナルとしてこれまでの経験と知識・知恵、そして人間力による相互理解を深めています。

さらに、特養をはじめとする施設は、利用者のみなさんの生活の場であることを基本とし、一人ひとりの尊厳の下にライフスタイルをサポートすることを今後もモットーとします。

また、緑樹会は創設以来、地域の一員として、地域の福祉風土づくりをめざしてきたこれまでの伝統と財産を大切にし、「緑樹会の心」をしつかり継承・発展していきます。

平成三十年度、緑樹会は気持ちを新たに地域福祉の大樹たらんことをめざし、さらに邁進します。(富永 健)

竹とんぼ



デイ・サービス試行事業



▲着工前のデイサービスセンター建設予定地。



▲完成した緑樹苑デイサービスセンター。当時は一階平屋建てだった。(写真右:建物正面、上:建物裏手)



デイサービスセンターの開所式



▲平成30年3月現在の緑樹苑デイサービスセンター建物。2階には訪問介護事業所と学童クラブを併設している



▲開所当時のレク活動等の様子。カラオケは、今も変わらず利用者に人気。

特集

デイサービス 試行事業開始

デイサービスセンターの誕生 将來への展望と着工へ

3月1日、緑樹苑デイサービスセンターは、昭和63年の開所から、今年で30周年を迎えました。特集では、デイサービスセンター誕生の経緯を紹介します。

デイサービスの必要性 試行事業開始

昭和60年4月に、緑樹会は施設を地域に開放し、施設利用者と地域住民の交流と在宅福祉の向上を図り「福祉風土づくり」を推進するために、毎週木曜日に地域の在宅高齢者の入浴や食事、機能訓練、レクリエーションなどを行う、デイサービス事業を試行開始した。

昭和61年、緑樹会は創立7周年を迎え、記念事業として取り組んだのがデイサービス研究事業であった。研究委員会で検討を重ね、地域の高齢者の実情やサービス事業の必要性を訴え、同年10月に事業推進の要望書として沖縄市に提出。12月には国に認可申請をした。

総合的な老人福祉施設としての歩みを開始

昭和62年9月に認可を受け、同年12月からデイサービスセンターの建設工事を開始。昭和63年3月1日、緑樹苑デイサービスセンターが開所した。

緑樹会は、デイサービス事業の開始によって、「軽費老人ホーム」「特別養護老人ホーム」「デイサービスセンター」を「沖縄長寿センター緑樹苑」と総称し、総合的な老人福祉に取り組む社会福祉法人として、歩み出した。(緑樹会創立10周年記念誌『大樹』より引用)

竹とんぼ

緑樹苑デイサービスセンター

皆様に支えられ
開所30周年

祝30周年

おめでとう

「三線の日」交流会



また、3月1日に緑樹苑デイサービスセンターが開所から30周年を迎えたこともあり、併せて30周年を祝い、職員による「かぎやで風」が披露された。利用者の皆さんと職員共に、お祝いのひと時を過ごしました。(新垣春美)



三線にまつわる話や三線の各部位の名称などを説明し、職員による三線ショーや始まった。「安里屋ユンタ」「十九の春」「芋の時代」などが演奏されると、利用者の皆さんと一緒にになって唄を口ずさんだり、手をあげて踊ったりと楽しんでいた。利用者の嘉手苅さんが飛び入りで太鼓演奏に参加し、ショーやはさらには盛り上がった。

♪「さー君は野中のいばらの花
かーさーゆいゆい…」
3月5日(月)、緑樹苑デイサービスセンターとして三線ショーやを開催した。

三線にまつわる話や三線の各部位の名称などを説明し、職員による三線ショーや始まった。「安里屋ユンタ」「十九の春」「芋の時代」などが演奏されると、利用者の皆さんと一緒にになって唄を口ずさんだり、手をあげて踊ったりと楽しんでいた。利用者の嘉手苅さんが飛び入りで太鼓演奏に参加し、ショーやはさらには盛り上がった。



竹とんぼ

地域主催のグラウンドゴルフ大会に参加 ケアハウスていんさくめ花



3月11日(日)、沖縄市比屋根自治会主催の「世代間交流グラウンドゴルフ大会」が美東公園で開催され、児童から高齢者まで幅広い年齢層の地域の方々(約50名)が参加した。ケアハウスていんさくめ花からも、利用者3名と職員3名が参加し、春の清々しい晴天の下、グラウンドゴルフを楽しんだ。

大会は、地域の世代間交流を目的に毎年開催され、地域会長が、「市内自治会の三七(さんなな)運動とも併せて取り組みで、健康づくりに繋げ、競技を通じて楽しい時間の恒例行事となっている。

開会式では、宮里和夫自治会長が、「市内自治会の三七(さんなな)運動とも併せて取り組みで、健康づくりに繋げ、競技を通じて楽しい時間の恒例行事となっている。

競技では、参加者の皆さんハツラツとしたプレーで2ゲームを楽しんだ。ゲーム終了後には、利用者の平良キヨ子さんが「また来年も参加したいさー」と参加賞を手に、笑顔で来年への意気込みを述べた。(小渡修)



中堅職員研修 テーマ「あなたの〇〇力を高めよう」を終えて

発想力と向上力を高める為には、しっかりと自分に足りないものを把握する事が大事だといふ事を感じました。この二つを鍛える為に、「現状把握」「方向性の確認」「充足手段を考へる」をメインドマップの要領でやる事により、問題点を知ることが出来ました。自分が自分の場合は、現状把握においての判断力の低さをあげ、それに方向性を持たせる手段を考へることで、とつさの判断力をあげることを考えました。そうする事によって職員間での円滑な業務ができ、気付いた事を発言することによって、発言力も身に付けることができました。

この様な考え方を、マインドマップ風に書きだすことによつて、職員間で意見を交換することを考えていました。

力を使つて頂けるかを考え、発想力により、向上力をあげるために良いきつかけになると思いま

特別養護老人ホーム
緑樹苑 照屋 寛伸
介護員



就職して約三年たち、後輩も

出来的た今だからこそ、伝達力があるかどうかがより大事なこ

とでありますと分かりました。仕事を

する上に何かを伝える事

や、伝える事はたくさんある

事が、それを読み取り、聞き取る

事は意外と難しい事だと痛感

しました。

この研修で始めにアイスブ

レイキングとして二人一組で

「五十音ならべ」にチャレンジし

ました。また、伝達力を上げる

がどうするかを伝え、相手がど

うするかを聞きとる事がうま

く出来ずに時間がかかる事で自

分がどうするかを聞き取る事

が、相手に「伝えた」ではなく「言つた」だけだったのだなと思

いました。また、伝達力を上げる

には、「言つた」「伝えた」だけではなく、「理解したか」どうかが

竹とんぼ

感極まって涙も 特別養護老人ホーム緑樹苑 誕生会



の皆さんも手拍子しながら一緒に口ずさんでいた。なかには感極まつて涙を見せる方もおり、会場は大いに盛り上がった。

最後は、おなじみの『唐船ドリーム』でカチャーシーを踊り、職員、利用者の皆さん一緒に笑顔で楽しみながら誕生会は終了した。(千葉一輝)



桃の節句、健康を祈願し「ひなまつり会」を開催 緑樹苑デイサービスセンター



ひなまつり会は終始笑顔に包まれ、健康を祈願しつつ、皆で楽しそうに盛り上がった。

また、ボランティアで来苑した渡嘉敷恵梨さんによる三線演奏も披露され、そのやさしい歌声と三線の音色に、利用者の皆さんからは「とても上等」「最高!」と称賛する声が聞かれた。

お内裏様とお雛様に変身した職員が登場すると、利用者の皆さんから拍手と笑い声があがり、会場はさら

に盛り上がった。

ひなまつり会には、日頃のレクリエーション時間に利用者と職員で作成した紙コップのひな人形や、紙で作った花飾りの作品が飾りつけられ、会場は華やかな雰囲気となつた。

催された。



3月3日(土)、緑樹苑デイサービスセンターでは、ひなまつり会が開催された。

スセンターでは、ひなまつり会が開催された。

竹とんぼ

4月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさぐぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(日)			カラオケ		
2(月)		民舞クラブ	輪投げ		
3(火)			スカッシュボール		
4(水)	利用者健康診断	ミニシアター	歌会		
5(木)		カラオケクラブ	手工芸	ハンドマッサージ	
6(金)			映写会	手芸クラブ	
7(土)			ボウリング		園外活動
8(日)			カラオケ		
9(月)		書道クラブ	輪投げ		
10(火)		三板クラブ	スカッシュボール・三板クラブ	手作りおやつ会	
11(水)		防災訓練	歌会		
12(木)		手作りおやつ会	誕生会	防災訓練	
13(金)		お茶会	映写会・塗り絵クラブ	手芸クラブ・三板	
14(土)			ボウリング		園外活動・読み聞かせ
15(日)	国際ひやみかち節コンクール		カラオケ		
16(月)		利用者健康診断	輪投げ	カフェタイム	
17(火)		ミニドライブ	スカッシュボール	誕生会	
18(水)	浜下り	浜下り・ミニシアター	歌会		
19(木)		カラオケクラブ・美化活動	防災訓練		
20(金)		手芸クラブ	映写会		
21(土)			ボウリング		園外活動
22(日)			カラオケ		
23(月)		書道クラブ	輪投げ		
24(火)		三板クラブ	スカッシュボール・三板クラブ		
25(水)	防災訓練	防災訓練	歌会	防災訓練	
26(木)		散髪・民舞クラブ	手工芸		
27(金)	誕生会	誕生会	映写会・塗り絵クラブ	手芸クラブ・三板	
28(土)			ボウリング		園外活動
29(日)			カラオケ		
30(月)			輪投げ		学童休園日

今月号の特集で「ライサービスセンター」の開所に至る経緯を紹介しました。内容は記念誌からかいつまんで抜粋して引用しましたが、恐らくはそう簡単な出来事ではなかつただろうと、想像に難くありません。

緑樹会は当時から、地域システムの構築を模索し、複合的なサービス体系を地域に提供する『安心と生きがいに満ち溢れる地域福祉社会』の形成へ向けた実践に取り組んでいました。現在では、国が『地域包括ケアシステム』の名で『地域共生社会』の実現に向けた取り組みを打ち出しています。

時代が変わり、社会的な背景も大きく変化していますが、本質的な部分では、利用者や地域社会が求めるものは変わらず『福祉』としてそこにあります。(カラオケも)

新年度を迎えた4月。また新たな気持ちで初心に帰るとともに、これから時代に即した積極的な変化と、守るべき社会福祉法人としての使命をこれからも全うしていきたいと思います。(砂川智規)

編集後記

(平成三十年二月一日～二月二十八日)

感謝錄

温かい御支援、御協力下さいまし
た方々に、厚く御礼申し上げます。